

広報

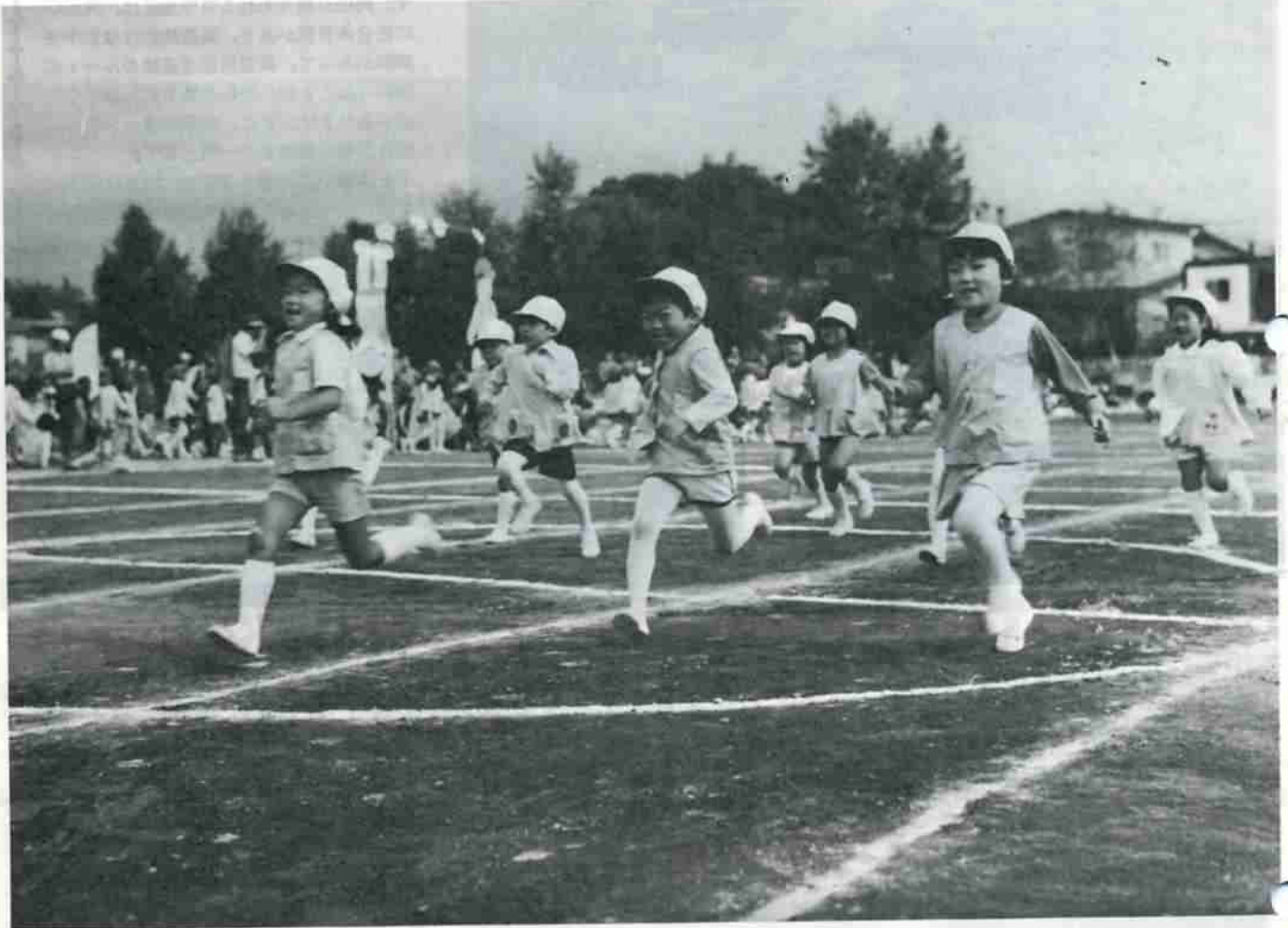
のほろへつ

市の人口

8月末在現

総人口	54,833 (228増)
男	27,356 (122増)
女	27,477 (106増)
世帯数	16,624 (59増)

()内は前月との比較増減



スポーツ行事 たけなわ

スポーツに絶好の秋をむかえ、市内各地では、各種スポーツ大会が繰り広げられています。

今年から特に、市民がそれぞれの体力と適性に応じたスポーツ活動に自発的に参加し、明るく健康な心身を養うことを目的とした、第一回登別市民総合スポーツ祭が実施されています。

市民一人一人が一度はこうしたスポーツ行事に参加できるようにと、体育協会加盟団体ばかりでなく、各連合町内会や各種団体などが町内対抗ソフトボール大会やラジオ体操会などを開催して、市民皆スポーツの幕あけと見えそうです。

この機会に、あなた自身のスポーツを見つけ、おもしろい体を動かしてみたいかがでしょうか。

写真は、九月十五日幌別小学校グラウンドで開かれた、カトリック聖心幼稚園の運動会のもようです。

10. 1 1978

シリーズ『あなたの地区施設ができあがるまで』④富岸地区

登別“第5の市街地”へ急ピッチ



室蘭、登別两市間の熱っぽい誘致合戦の末、登別市に決まった胆振西学区の新設道立高校の建設がハイペースで進んでいます。同校が建てられる富岸地区は、向かいに総合体育館があり、隣接地には登別中央病院があって、高速自動車道路のルートにかかったことから移転改築された富岸小学校があります。また、職業訓練センター、総合運動公園事業の一端としてテニスコートと広場が近く着工予定で、将来は中学校新設計画もあることから、急速な宅地化と相まって、数年後には街並みは一変しそうです。

ダンプカーやブルドーザーが行き交い、急ピッチで進められている青葉町、若山町付近の街づくり。写真は道立高校建設現場周辺と総合体育館（下）。



文教、保健地区に大きく発展へ

登別市内の市街地は、鷺別、幌別、登別、登別温泉の四地区ですが、新たに青葉町、若山町から富岸町に続く一帯は、第五の市街地として形成されそうです。

既設の総合体育館、中央病院、富岸小学校に加え、市内二番目の道立高校が建設中であり、近く職業訓練センター、テニスコート等

を建設するため、敷地を造成中です。

この地区が市街化すれば、鷺別地区と幌別地区の分断状況が解消され、登別市のマチ並みは大きく変わっていくと思われれます。

青葉町―富岸町は当面、文教地区的色彩の濃いものとなりそうです。これまでの公共施設は市総合体育館しかなかったのですが、室蘭市との激しい誘致合戦の末、同地区発展のキッカケとなる道立高校が建設中です。

道立高校は、五万六千方分の敷地に鉄筋コンクリート四階建て六千二百平方分の校舎と体育館、プールを備えるもので、昨年の春に着工しました。

普通課十八学級の間口で、昭和五十四年四月開校予定で、急ピッチで工事が進められています。道内各地の例をみても、道立高校ができれば、周辺が市街地として開けることとなります。

また、鷺別地区の人口増加にともない、生徒数が増えている鷺別中学校の過密対策として、市は将来、富岸地区に中学校を新設する構想を打ち出しており、すでに敷地を確保しています。

体育施設としては、総合体育館周辺地区の総合運動公園の構想を明らかにしています。

昨年造成する予定だったスケートリンクは、予想以上の湿地帯だったことと、気象条件、利用率等の検討の結果、延期することになりましたが、このほかに市営野球場

等を設置し屋内、屋外スポーツが楽しめるというねらいです。

道立高校建設現場の東側隣地には、登別中央病院が、今年四月にオープン。内科を主体に、耳鼻咽喉科、眼科も併設されています。

これまで、市内には耳鼻科医、眼科医が不在で、婦人団体などから市に誘致の陳情が出されていましたが、この病院の開設でこうした悩みが解消されました。

市街地としての発展のカギは、交通の利便が重要ですが、高速道路・北海道縦貫自動車道の室蘭東インターチェンジが、近く設置される見込みです。

この位置を基礎に、市では道々上登別―室蘭線を含めた道路整備計画を見直す方針であり、また、国鉄の鷺別駅と幌別駅の中間点の富岸地区に駅を造るため、国鉄に対し誘致運動をはじめています。

道南バスの路線新設により、すでに今年四月十日から運行を開始しており、将来の計画が進展すると、富岸から青葉町、若山町にかけての約二百歩は、最高の条件を備えた住宅地として開け、流通機能も備わって、住みたくなる登別のキャッチフレーズ通りの市街地として、大きく発展すると思われれます。

将来を見越した土地取得がマチ発展への足がかりに

前段で述べたように、市街地発展への明るい見通しの富岸地区に変貌をよびつつあるのですが、この足がかりとなった要因としては、市全体の発展計画に基づく、長期的な展望のうえに立った、土地開

市長動静

8月25日～9月8日

- ▽8月25日 第八回登別市職業者追悼式に出席。職業者の冥福を祈る。午後第十五回登別地獄まつり折願祭を初め、地獄まつり各種行事に出席。▽同26日 地獄まつり二日目。市内パレード、極楽通りパレードなどに出席。▽同27日 地獄まつり最終日。各種催し物に出席。三日間好天に恵まれ大盛況のうちに終了。▽同28日 文教施設などの会計検査を受ける。▽同29日 室蘭方面行政機関へのあいさつまわりを行なう。
- ▽同30日 相次ぐ来客と面談。懸案事項について担当職員と打合わせを行なう。▽同31日 九月末開催予定の定例議会提出案件などについて打合わせを行なう。
- ▽9月1日 登別商工会議所に設置された大型店対策委員会代表と面会。「大型店出店規制条例」の設定を求める陳情を受ける。▽同2日 各種問題について幹部職員と協議、懇談する。▽同3日 市営陸上競技場で開かれた胆振東部中体連陸上競技大会に出席。引き続き、池坊専永氏を迎え登別婦人センターで開かれた華道講演会に出席。▽同4日 毎日新聞主催の座談会に出席。登別市発展へ向け市内各界代表と懇談。▽同5日 札内の老人農園取壊祭に出席。収獲作業に集まった多数の老人と取壊を祝う。▽同8日 登別連合町内会ならびに婦人会主催の敬老会に出席。▽同7日 相次ぐ来客と面会。午後、市出先機関などを訪問。▽同8日 登別中央公民館で行なわれた第二回消費者大会に出席。

発公社による用地の先行取得があつたからだと思われす。

また、高速自動車道路のルート決定にともなう、優位な条件での富岸小学校の移転補償額の決定、振興公社等による同校々舎の通学区変更に基づく増築と、さらに、富岸地区に敷地の先行取得のため、富岸地区に敷地の先行取得がかりになる大きな要素といえそうです。

かつて、国鉄富別駅から幌別駅にかけての山側地帯は、約七キロにわたり泥炭地特有の湿地や沼地が続いていたところす。特に富別機関区の裏手から富岸町にいたるまでの一帯は、ミズバショウをはじめ、スゲ、アヤメなど無数の草花が群生していましたが、大半が民有地ということから宅地化が進み、市が区画整理事業に着手してからは、さらに住宅地の造成が進みました。

建設までの主なできごとをお知らせします。

これまでの説明の中に登場した総合体育館、道立高校、富岸小学校の建設までの、おおまかな経過についてお知らせしましょう。

まず、昭和四十九年十月にオープンした総合体育館ですが、土地開発公社と土地所有者との間で、用地(農地)の売買契約が済んで敷地造成工事の途中、土地開発公社は農地を買収することができないという、農地法にふれる問題にぶつかり、市が早急に買収しなければならなかったこと、ちょう

どオイルショックによる資材の高騰などで、延期してしまい、当初の予定より約四十日遅れて完成しています。

若山町二丁目、総事業費三億八千五百万円をかけて建設した総合体育館は、市民待望の、スポーツの殿堂にふさわしく、バレーボールコートなら二面、バドミントンコートなら八面も取れる広い競技場、最近式の器具をそろえたトレーニング室、七百人を収容できる観覧席などいづれもデラックス。

ところが初めのうちは「交通の便が悪くて、利用しにくい」という声が出されて、利用者が少なく体育関係者を困らせました。

しかし、現在は道路舗装も完成(幌別方面)し、道南バスの路線が新設されてからは、体育館の利用者が増加し市民から好評です。

次に道立高校の誘致についてですが、昭和五十一年の二月下旬に道教委が、高校進学率九五%を達成するため室蘭地方に、道立高校の新設を明らかにしたことから、登別市は、かねて市民から要望があつて、公立高校の誘致運動を進めていたので、これを機会に積極的な誘致運動に乗りだしました。

これに対し室蘭市では、白鳥台地区と周辺三カ所の候補地を挙げ、室蘭市内の道立高校は、蘭西、蘭東にはあるが、蘭北には無く、蘭西や隣接の伊達市黄金、稀府な

どの人口増加が予測されるとして誘致運動をはじめました。

こうして、両市が積極的な誘致台戦を展開しましたが、道教委の現地調査の結果や、中学卒業者の伸び率等を比較、登別市の方が室蘭市に比べ中学卒業者の収容率が年々悪くなつていく、土地の価格が安く登別には道立高校は一枚しかないなど、立地条件で室蘭市より一歩先んじていたことから、永年の願ひがかなない登別市に決定しました。

昭和五十一年八月三十日の事で

その後、昭和五十二年に入つて道立高校の建設敷地の売却になるわけですが、この年の二月、臨時市議会で青葉町の市有地を道に売却する案件で賛同が出されました。

「道立高校など道、国の建てる公共施設に、市が巨額の負担を強いられるならば市財政の圧迫になり、市民負担も大きくなる」という内容でした。

これに対し市は、「高校全入という市民の要望にこたえるため、また市内から他市に、交通費をかけて通学する高校生、時間的なむだや肉体的疲労の解消を考えれば、市の負担もある程度やむを得ない」と答えて議会側の了承を得ました。

最後に富岸小学校の移転についてふれてみましょう。富岸小は、市街地から少し奥ま



明年4月開校をめざし、建築中の道立高校



最新スタイルでモダンな校舎の富岸小学校々舎

ったところにあつた児童四十九人の小規模校でした。昭和五十一年三月末の、日本道路公団発表で高速自動車道路のルートが、富岸小を通ることになったことから、校舎の移転が緊急課題となつて、市と教育委員会が移転場所の検討を行いました。そして、旧校舎から約二百メートル下がった地点に、新校舎建設を決め、約三万平方メートルの敷地面積を買収、さらにここ数年、人口が急増しており、将来も大規模な人家の張り付きが予定されているため通学区域も拡大、あわせて校舎も増築することにしました。

新校舎は、鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ面積四千三百四十三平方メートル、総工費は約五億五千万円で、市内では若草小と同規模の広さ。学級数十二学級となつています。一方、昭和五十一年に完成した旧体育館ですが、この地区に青少年会館がないことから、内部を改造して富岸青少年会館として、移転使用することになったものです。

ぼくの犬を探して

子供が大切にしていた飼い犬が七月二十八日、新川町三丁目の通称「平の沼」付近で、ゆくえ不明となり、飼い主が一生懸命さがしています。お心当りの方は、至急連絡ください。

- ・種類 ポメラニアン、一歳半牡
- ・毛色 黒味がかった茶
- ・その他の特徴としては、首輪に住所、氏名(定成キント)が書かれています。
- ・連絡先 市内桜木町四丁目三番地公住B3の4、定成幸子(電話⑤9621)

秋の全道火災予防運動

(10月15日~31日)

- 幼児・老人だけを外出する点検
- 就寝前の火の消火は消火器
- は必ず自分が責任をもちます
- 自分自身で責任をもちます



期待もむなしく一年連続の雨

第四回登別市民まつり

九月九日・十日、幌別中学校グラウンドを主会場に各地区で開催された第四回市民まつりは、天候に恵まれなかったものの、本祭りの一部行事を除いて予定通り実施されました。前夜祭のパレードでは、自衛隊のブラスバンドを先頭に昨年よりさらに趣向をこらした仮装隊などが市内各地を練り歩き、子供連の人気を集めていたほか地区別の行事も盛り上がりを見せ、多彩な催し物が練り広げられていました。

本祭は、午前中の雨で一時間開催がやぶまれましたが、なんとか持ち直し、緑日コーナー・バンドウサギと幼児の運動会やカラオケ歌謡大会に人がつめかけ、ますますのにぎわいをみせました。

市民まつりのもよろを写真でご紹介します

カラオケ歌謡大会では、何組ものピンクレディーが登場、熱演を繰り広げました。



前夜祭パレードの飛べ孫悟空の行進は沿道の見物客に好評を博していました。—登別地区—



パンダウサギと幼児の運動会。チビっ子たちのお相手に、ウサギも後半にはバテ気味でした。

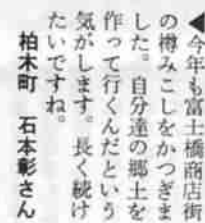


ハッピー姿もあざやかな児童の市民おどりは、初秋を飾る市民まつりに花を添えていました。—登別地区前夜祭—



▶カラオケ大会の子供の部で優勝しました。余り練習はしていませんが、上がらないで歌えたのが良かったのかな。

登別町 遠藤泰之くん



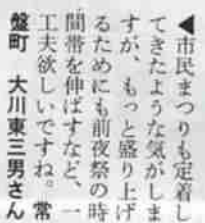
▶今年も富士橋商店街の樽みこしをかっこよく作って行くんだという気がします。長く続けたいですね。

柏木町 石本彰さん



▶雨で残念ですね。市民まつりの出店は、子供にも安心して品選びをさせることができますから毎年楽しみにしています。

片倉町 舟田光子さん



▶市民まつりも定着してきたような気がします。もつと盛り上げるためにも前夜祭の時間帯を伸ばすなど、工夫欲しいですね。常盤町 大川東三男さん



さわやかな秋の行楽シーズンとなりました。

例年この時期には、魚つりでの水事故や、きのこつりでの事故が多くおきています。

ひとりひとりが安全に気をくばって、むりのないレジャーを楽しみましょう。

きのこつりに行って、道に迷ったりする人の多くはお年寄りです。

お年寄り一人での山歩きは危険ですから、必ず家族のものが同行しましょう。

行先を言わずに一人で山へ行く、万一道に迷ったとき救助の手がかりがありません。

必ず家族や隣り近所に、行先と帰る予定時間を知らせておきましょう。

秋の天気は変わりやすく、気温も下がります。山へ入るときは雨具や防寒衣を持ちましょう。

道に迷ったとき、むやみに歩きまわるとかえって山奥に入ってしまうたり、体力をなくしてしまふものです。

落ちついて、よく方角を確認してから歩くようにしましょう。

(室蘭警察署 外勤課)



きのこつりによる事故をなくそう

郷土史探訪

知里真志保を訪ねて I

「私の背後には一万余千のアイヌがいる。私はそのアイヌの爲にも頭を下げることはできないのだ」これは、第一高等学校から東京大学へ進んだ知里真志保が常に言っていた言葉です。

室中時代、彼は良い教師に恵まれています。中でも榎俊三郎は彼をよく理解していた一人で、授業料の支払いにも困っていた状況をみて、アイヌの昔話「山の刀ね浜の刀ね物語」を書かせています。

これは彼の最初の著作であり、母からの助けもあったでしょうが非凡な才能を表わしたもので、この原稿は榎俊三郎の東京の友人から中央公論社、その他の有名雑誌社に売り込まれています。

「知里さんはまじめな性格で、仕事の内容はすぐ覚えたが、仕事の能率は特に早いという程でなかった。首段は無口の方で、何を考えているのか全くわからなかったし、

しかし、結果的に雑誌社ではアイヌ語部分の校正ができないので金田一博士の所属雑誌「民族」に発表されました。

金田一博士はこの原稿について「これが中学生の手によりできた仕事であるのか」と驚き、また知里幸恵の弟であることに喜びで一杯であったと言われています。

幸恵がある時、金田一博士に「私は頭が悪いが、弟の真志保であったならば先生の上のお手伝いができるでしょう」と言った事を思い出したわけですね。

昭和四年三月室蘭中学校を卒業した真志保は、幌別村役場に勤めています。

小学校卒業の多い中で、中学卒は立派な履歴です。しかし彼の見



札幌において、地名の研究で意見を交換する右から知里、高倉、河野、更科の諸氏（昭和29年）

人々との交際もほとんどないので……、だからすぐ役場をやめた理由もはっきりしないが、考えてみると彼は才能があつたし、恐らく人種の偏見の強い当時の社会で、役人のむずかしさを感じたものと思えます。

特に戸籍の取り扱ひをして、土地台帳を見て、和人ととの差別を文字の上ではっきり見た時、真志保さんの甘んじていられない強い性格が反発となってあらわれたのでしよう。

その後、東京へ勉強をしに行つたという事を聞いて、何か安心をしたような気がしたが、何の勉強をしに行つたのか全くわからなかった。（登別高校郷土史クラブ聴取）というように、彼の反発心は高まり、向上心が次の段階へと歩を進めます。

しかし、彼が幌別の役場を辞し

た理由の裏には、姉の幸恵が書き綴つた「神話集」へのあこがれや偉大なユウカラ詩人であった金成マツ、その母親のモナシノウク達の心の中に、泉のように湧き出て「生きていくアイヌの世界」に対して強い郷愁を感じたのではないのでしょうか。

アイヌの世界が生き続けている、これは全く素晴らしいものだ、そして私達にだけしかわからない……と。知里真志保の非凡な才能をみていた金田一博士は、真志保を東京の学校に入れてその才能を伸ばそうと考えていました。

また、真志保が発表した雑誌「民族」をみて彼に誘ひをかけ、知里家に真志保の援助を申し出た、もう一人の人物に当時日本古代史の学者として有名な喜田貞吉がいます。

彼の残した手紙に「今の貴重なアイヌ文化が何にも残らないで消えていくことは誠に残念で、立派な歴史を残すためにもアイヌ語を勉強する人がほしい、

「姉の知里真志保君は若いし、適当な人物と思つたが、お父さんの高吉さんが許してくれない。身体も健康でないというし、姉の幸恵さんのようになつたらと思うと無理もない」と書いてあります。

しかし、この頃はすでに、金田一博士が真志保に、東京の学校へ入れるための受験勉強を別でさせています。

受験の準備期間は短く、どこの学校に進学するかは未決定でしたが、受験手続きの近くに上京した真志保に、当時のエリートコースである第一高等学校の英語の入試問題をさせたところ、案に解答したので一高を受験させたといわれています。

一高入学後、叔母の金成マツや古老達からアイヌ語を聞き、アイヌ語の整理をしていましたが、これも思のある金田一博士に協力するという立場からでした。

しかし、人間集団としての社会のしくみや生活条件の違い、そして体質の異なる中で、長い伝統と文化が育ってきた栄光と苦悩の歴史を、自分が生みだし、経験しあつかも同質のように考えてすべてが分つていようような発表をしていく者達に彼は反発し「自分の背後に一万余千のアイヌ達がいるのだ」と真実の姿を求めて立ちあがつたのでした。

真志保は、その後東大英文科を一年でやめ、アイヌ語研究のために「言語学科」に変更し、金田一博士の弟子になり本格的に取り組みることになりました。

そして研究が深まれば深まるほど、血を分ち得る者だけが理解できる習俗の認識に自信を持ち、人間理解の原質的考へや、発想の異りに強く反発することになりました。

「姉幸恵のアイヌ神話集は世界的名著である、それに比べると金田一先生のアイヌ語訳は、やはりシャモ(和人)のものでしかない。」

また、金田一門家の兄弟子である久保幸逸彦との論争も有名です。

「世の中に怪しい代物が大威張でまかり通つている」と、ジョン・パチエラーの「アイヌ・英・和辞典」に対しては、特にその批判が激しく、それは、生きていく世界を書きえないすべての者に対する批判でした。

(登別市郷土文化研究会)

休日・夜間の急病は

当番医か急病センターへ
休日や夜間、急に発病した市民のために、急患診察医(当番制)と室蘭特別急病センターが開設されています。

次のことに注意してご利用ください。

〈急患診察医〉
急病センターの診察受付時間の開始までの間、室蘭・登別地区の病院などが当番制で急病患者の診察を行なっています。

当番医については、新聞に掲載されていますので、利用されるときは新聞をお確かめください。

〈急病センター〉
急患診察医の診察後は、室蘭特別急病センターが開設されています。

利用されるときは次のことに注意ください。

※保険証を必ず持参すること。
保険証を忘れずと、全額自己負担になりますので注意してください。

診察時間
平日 午後六時～午後九時
土曜日 午後一時～午後五時
日曜・祭日 午前九時～午後五時

場所 室蘭市東町五丁目六番十五号(大和保育所隣り)

第一回みんなの生活展

私たちは、身のまわりを多くの商品に囲まれ、企業の一方的な情報宣伝だけで商品を大量に消費してきました。しかし、昭和四十九年の石油ショック以来、資源問題を含め、自分たちの生活をもう一度見直してみようということになり、消費者運動も最近では地域に根づく消費者運動に変わってきています。

そこで第一回みんなの生活展は「見直そう、くらしを」をテーマに、日常のくらしの中の色々な問題点を取り上げ、生活の改善と豊かなくらしをめざして開催します。

〈生活をとりにくくコーナー〉・衣料の品質表示と洗たくの絵表示・クリーニングの取り扱い方・衣料の加工について・ふとんの選び方・パンティストッキング

〈貯蓄コーナー〉・貯蓄に関するパネル展示〈相談コーナー〉・消費生活に関する相談〈産直コーナー〉・近隣の野菜、くだものを安価に即売

▽開催日時 十月十八日(水)二十日(金) 午前十時から午後四時まで

▽開催場所 中央公民館二階ホール

〈見直そう、くらしを〉の耐久性と利用方法・省資源について〈くらしと計量コーナー〉・計量器の展示・体力測定・体温計の検査(家庭の体温計を持参してください)・ユニットプライシングについて(単位価格表示)〈生活を見直すコーナー〉

分別収集と私

これはよく検討して下さい。

(片倉町 一主婦)

◎不燃ゴミの食品パック類は、たいていの店にいくと、きゅうり、人参、玉ねぎ、その他いろいろとパックに入れて売られています。ていさいはいいのですが、たいへん無駄です。

市の方でも、市内の食料品店などで過剰包装をしないように注意してください。

◎紙屑など、家で燃やせるものになるべく焼却してもらいように、家庭用焼却炉を安くあつせんしてはいかがでしょう。

◎不燃ゴミの収集は、週に一回をめぐりに実施してください。

たまってしまうと、つい、ポイということにならないでしょうか。予算の上で、二週間に一回となっても、燃えないゴミを出され、燃やして、機械がこわれ修理では同じことではないでしょうか。

◎食品パック、ナイロン袋は燃えないゴミの代表的なものです。これら燃えないゴミは、埋め立て処理をする訳ですが、腐るものではないので年々増える一方です。

ご意見のとおり、各商店では食品パック、ナイロン袋の利用はできるだけ控えていただくとともに、買い物にはカゴを持っていくなど余分な包装をしなくても済むように、消費者もご協力ください。

◎古新聞、空ビン、ポロ布類は再生のきく貴重な資源です。

分別収集を進める一方、各町内会や婦人会などとタイアップして廃品の再利用の運動を進めています。

リフォーム品の表示・ゴミの分別収集について・再生品の表示・古紙のしぼり方・ビンの種類について・食生活コーナー・緑黄色野菜の食べやすい調理方法(実演もあり)

スポーツ短信

健康スポーツ教室に参加しませんか

あなたは体力に自信をおもちですか。

総合体育館では、あなたの生活を健康で、より一層豊かにするために次のとおり健康スポーツ教室を実施します。

参加してみませんか。

▽期間・時間 十一月三日から十二月八日までの毎週火・金曜日 午後六時三十分から八時三十分

▽種目 バレーボール、バドミントン、卓球の各種目を三回ずつ行なう。

▽対象 市内に居住する一般男女

▽経費 七百元(飛ナワ・保険料等)

▽申込先・期日 登別市総合体育館(電話5局552)

十月二十四日(火)まで

▽その他 ●参加者にはスポーツ傷害保険をあつせんしますので、参加申込と同時に申込みください。

●参加者は運動のできる服装とラケットを準備してください。

●その他くわしい内容については体育館まで問い合わせください。

空手を習いませんか

登別空手協会

空手は、殺伐なもの、危険なものと思いがちですが、けつしてそうではありません。

空手は、日本古来の武道(空手道)の精神をととして人間形成に役だつばかりでなく、体力の増強と女性の美容にも効果のある立派なスポーツです。

登別空手協会は、今年の四月に発足し、現在週二回の練習にはげんでいます。

市内に居住する小学生以上であれば、男性、女性、老若を問わず

オロフレ市民登山に参加しませんか

▽日時 十月八日(日) 雨天の場合十月十日

▽募集人員 五十名(小学校二・三年生で登ることが出来る山ですが、小学校六年生以下は父母同伴とします)

まだ余裕がありますので、お早めに市民プール内 千葉(電話5局5588)に申し込みください。

▽参加料 五百円

▽日程 8時 登別公民館前出発

8時20分 中央公民館前

8時35分 登別公民館前

8時50分 温泉公民館前

9時50分 オロフレ峠着

10時10分 登山開始

12時 オロフレ岳頂上

13時下山開始

14時 オロフレ峠着

14時40分 温泉公民館前

14時55分 登別公民館前

15時10分 中央公民館前

15時25分 登別公民館前到着

▽その他注意事項 ●持参するものは昼食、水筒、着がえ、雨具、おやつなど ●服装は運動着が適当ですが、くつについても運動ぐつ(スニーカー)が最適です ●当日雨もようで実施するかどうか不明な場合は、市民プールに問い合わせください。

秋のハイキングを 行ないます

市内の各児童館では、児童を対象にハイキングを行ないます。参加申し込みは、各児童館備え付けの用紙で申し込みください。未就学児童が参加する場合は、保護者の付き添いが必要です。

▽実施日 十月十五日(日) 十時出発で、帰館は十三時三十分。

●登別児童館 フンペン山

●富浦児童館 札内牧場

●幌別・富士児童館 幌別ダム下

流

「市民の声」に 住所・氏名を

「市民の声」の欄に投稿される方におねがいをいたします。市民のみならずからいたたく、投稿の内容に疑問点があったり、紙面の都合で、広報紙上でお答えできない場合は、投稿者に連絡しなければなりません。

また、責任あるご意見をいただくということからも、住所、氏名を必ずご記入をお願いします。

なお、掲載する際、特別な事情で、「匿名」を希望されるときはその旨をお知らせください。

(総務部公聴広報課)

有権者数まとまる

—昭和53年9月1日現在—

- ◎この選挙人名簿に登録されているのは、9月1日現在市内に居住されている方で、6月1日までに転入された方です。
- ◎新有権者は、昭和33年9月2日までに生まれた方です。

選挙人名簿登録者数調

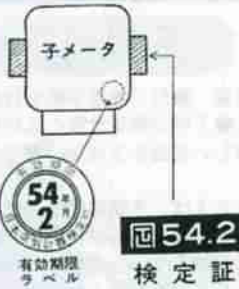
(S53.9.10定時登録)

投票区	投票所	登録者数	男	女
1	中幌	2,472	1,197	1,275
2	大幌	2,290	1,120	1,170
3	登別	2,363	1,296	1,067
4	富来	3,939	1,930	2,009
5	富来	2,141	1,037	1,104
6	富来	469	234	235
7	登別	563	274	289
8	登別	2,144	1,023	1,121
9	登別	484	240	244
10	登別	1,699	737	962
11	登別	85	40	45
12	登別	124	63	61
13	登別	22	13	9
14	登別	780	391	389
15	登別	1,134	578	556
16	登別	2,690	1,326	1,364
17	登別	2,918	1,496	1,422
18	登別	1,335	655	680
19	登別	1,079	522	557
20	登別	2,071	1,004	1,067
21	登別	1,359	690	669
22	登別	3,187	1,574	1,613
23	登別	1,658	770	888
合	計	37,006	18,210	18,796

図の例は、昭和五十四年二月まで使える場合のもので、
なお、最近検定されたメータには、このほか有効期限を表示したラベルもはってあります。

《有効期限は》
検定に合格したメータは、図のように黒色合成樹脂製の検定証がつけてあり、その表面に使用できる期限の年月が刻印されています。

また、検定には有効期間があつて七年と定められており、一度検定に合格したものでもこの期限が切れたときは、もう一度検定を受けなければなりませんので、検定期間満了計器および未検定計器の使用は、早急に検定を受けるようにしてください。



《検定を受けるには》

いま使っているメータを検定するには、取り外したり取り付けたりする電気工事が必要ですから、電気工事業者に依頼するのがよいでしょう。

一個あたりの費用は、普通のメータで、検定手数料、修理調整料、取替工事料など、全部でおよそ三千円です。

《お問い合わせは》
○検定する所：日本電気計器検定所（電話011-611-1482）
○修理調整する所：北海道計器工業株式会社（電話011-621-3561）

電気子メータの検定を受けましょう

文化短信

のほりべつ文芸原稿募集
のほりべつ文芸編集委員会では次のとおり「のほりべつ文芸」第七号の原稿を募集しています。多数応募ください。

- ▽募集作品 ○創作、評論、シナリオ（一人一編二十枚以内） ○詩（一人一編五十枚以内） ○俳句（一人五句以内） ○川柳（一人五句以内） ※いずれも四百字詰原稿用紙を使用してください。
- ▽応募資格 登別市民もしくは、市内の文字団体に所属している者
- ▽締め切り日 十一月十日
- ▽作品の送り先 登別市中央町六丁目十一番地 登別市教育委員会 社会教育課内 のほりべつ文芸実

行委員会
▽応募要領 応募原稿には、住所氏名、職業を明記する。ペンネームを使用する場合でも必ず本名を併記する。

▽問い合わせ先：市教委社会教育課（電話5局2111内線352）
・登別中学校（電話6局7950）
工藤 昭生

▽その他 登別市文芸第七号（一月中旬刊行予定）は、実費で購入ください。

おいしいコーヒー、紅茶の入れ方、クッキーなどの作り方講習会

▽場所・日時と申込先 ●中央公民館／十月十七・十八日／市教委社会教育課 電話5局2111内線352 ●登別温泉公民館／十月十八・十九日／温泉支所 電話4局2068 ●登別婦人センター（登別東町）／十月二十・二十一日／登別支所 電話3局1131 ●登別公民館／十月二十四・二十五日／登別支所 電話6局6111 ※時間は四会場いづれも、午前十時～十二時

▽講師 ウェンシマコーヒー株式会社 営業所 西村食品工業株式会社 支店

▽受講料 無料

▽定員 三十名（定員になり次第締め切りです）

▽当日持参する物 筆記用具

▽申込受付 十月五日から

者を迎えての、実技を主とした講習会です。多数の受講をおまわししてください。

▽場所・日時と申込先 ●登別公民館／十月十四日 午前十時～十二時三十分／登別支所 電話6局6111 ●中央公民館／十月十六日 午後一時～三時三十分／市教委社会教育課 電話5局2111内線352 ●登別婦人センター（登別・登別温泉地区）／十月十七日 午後一時～三時三十分／登別支所 電話3局1131

▽講師 第一回登別市つげものコンクール優秀者 六名

▽受講料 無料

▽定員 五十名（定員になり次第締め切りです）

▽内容 せんまいづけ、かすづけ、葉づけ、朝鮮づけ、魚づけ、しょうゆづけ、たくわんづけ、みそづけ、その他講師の方々のアイデアでのつけ方も紹介します。

▽申込受付 十月五日から

桜木簡易郵便局が新設されました

＝登別郵便局＝

郵政省では、お客さまサービスの向上を図るため、次のとおり郵政業務の個人委託による「桜木簡易郵便局」を設置しましたのでご利用ください。

▽場所 登別市桜木町三十三

一 ▽受託者：若狭 紀一 ▽開設月日 昭和五十三年十月十六日

▽取扱業務 郵便、郵便貯金、郵便為替、郵便振替、国民年金、簡易生命保険申込 ▽取扱休止日 日曜日、祝日、一月二・三日 ▽取扱時間 九時から十六時まで、ただし土曜日は十二時まで

新着図書案内

- ＝市立図書館＝
電話 5局4324
- ・朝鮮あさがお 橋本都耶子
 - ・ギャンマンビードロ 林京子
 - ・カリスマの宴 森村誠一
 - ・かの子撥乱その後 瀬戸内晴美
 - ・花蔭の人 近藤富枝
 - ・波濤は歌わぬ（上下）
 - ・大原富枝
 - ・人間のなかのX 遠藤周作
 - ・春の鐘（上下） 立原正秋
 - ・アメリカの女たち 中野英子
 - ・原野 貴女にもこの潮風を樹の匂ひを 桐島洋子
 - ・観音力疾走 木偶おがみ
 - ・高橋探一郎 土壁の修羅
 - ・石井代蔵 言葉の海へ 高田宏
 - ・わが小林秀雄 河上徹太郎
 - ・人間と女性として 羽仁説子
 - ・ヒマラヤ診療所日記 岩坪哈子
 - ・自らの鐘 野坂昭如
 - ・ロードショーは死のにおい 小林久三
 - ・きのうの虹 佐多稲子
 - ・冬のササノオ 畑山博
 - ・或る日記 宇野千代
 - ・わたしひとりの親鸞 古田武彦
 - ・ドストエフスキーへの旅 佐々木美代子
 - ・飯沢匡のもの 吉田モロオ
 - ・航西日記 堀田善衛
 - ・フェーリィジョン・ファリス
- ◎図書購入費 登別漁業協同組合様

ご寄贈ありがとうございます
ごさいます

来年こそは市民おどりを

市民おどりの振付を担当して今年で3年目になり、延べ4,500人の方に講習を行ないました。

中でも自衛隊員の余りの真剣さに、こちらが圧倒されるということがあります。和気あいあいと進んできたような気がします。

残念な事に、市民おどりが始まった初回の年(第2回)を除き第3回・第4回と続けて雨にたたられ折角の練習も無駄に終わってしまいました。



市民おどりは年に1度、市民みんなが参加できる行事です。多少の雨で中止とは、気合いが足らなかったのではないかと思います。

市内には、3派の日本舞踊がありそれぞれ教室を開いて指導に当たっています。

日本舞踊という、時間とお金がかかると思われがちです。確かにお金はかけるときがありませんが、日本古来の伝統を受け継ぐ精神は、スポーツにも共通する物があると思います。

登別温泉町62番地 藤岡 華代さん

お知らせ

予防接種

●接種上の注意 ●母子健康手帳を持参●体温は必ず家で計ってくる●子供の健康状態の良い時に接種する●接種前後に激しい運動をさせない●できるだけ母親が付き添う。

◎次に該当する人は、予防接種は受けられません●発熱している人、または著しい栄養障害者●心臓、じん臓、肝臓の病気にかかっている人●アレルギー体質または副反応をおこしたことがある人●種痘、BCG、はしか、ポリオの予防接種を受けて1カ月を過ぎている人●風疹、はしか、水ぼうそう、おたふくかぜが治って1カ月を過ぎている人

◎対象児 ●三種混合 第一期…生後24カ月から36カ月未満 第二期…生後36カ月から48カ月未満 ●ポリオ(生ワタチン) 生後3カ月から生後48カ月未満 ●インフルエンザ 16歳以上の希望者(有料)

場 所	時 間	予 防 接 種 名		
		三種混合	生ワタチン	インフルエンザ
ひまわり園	1:00~1:30	10月4日	10月18日	11月29日
		11月29日		
鷺別公民館	1:45~2:15	10月4日	10月18日	11月29日
		11月29日		
富浜児童館	1:00~1:30	11月7日	10月3日	
登別公民館	1:00~1:30	10月4日	10月18日	11月29日
		11月29日		
登別温泉公民館	2:00~2:30	11月7日	10月3日	
中央公民館	1:00~1:30	10月5日		
商工会館	1:00~1:30	11月9日	10月12日	11月9日
		11月16日	10月19日	11月16日
			10月26日	

赤ちゃん(3ヶ月児)相談

◎内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
◎用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル
◎日程 10月24日…鷺別公民館(受付時間12時~12時15分、鷺別地区の昭和53年7月出生児) 10月26日…中央公民館(受付時間12時15分~12時30分・中央地区の昭和53年7月出生児)※当日の終了時間は3時頃になります。

2歳児歯科検診

歯科医師、歯科衛生士、保健婦による「2歳児歯科検診」を無料で実施します。

歯科検診、歯に関する講話、ハミガキ指導、フッ素塗布(当日希望をとって後日実施)等を企画していますので、対象児は受診してください。

◎対象児 昭和51年4月1日から昭和51年9月30日までの出生児。◎母子健康手帳と現在使用している歯ブラシをご持参ください。※検診は2時間位かかりますのでご承知ください。

実施日	受付時間	実施場所	対象児(町名)
10月12日	12:30~13:00	中央公民館	富1、富本、鷺別、平、千歳、新栄、新山、川上
10月13日	12:30~13:00	*	結木、富郷、中央、丹波、新山、新山、富郷
10月17日	12:30~13:00	登別温泉公民館	クニノホ、登別温泉、上登別、中登別
10月18日	12:30~13:00	登別温泉公民館	登別温泉、登別温泉、登別温泉、登別温泉、登別温泉
10月19日	12:30~13:00	登別温泉公民館	登別温泉、登別温泉、登別温泉、登別温泉、登別温泉
10月20日	12:30~13:00	*	富郷、富郷、富郷、富郷、富郷

お知らせ

福祉年金は、受ける資格を得たときから五年以内に請求の手続きをしないと時効で資格がなくなりません。

旧軍人と遺族の方
断続一時金が支給
されます

胃の集団検診を次のとおり実施します。
なお、定員になり次第締め切らせていただきますので、希望者は早めに申し込みください。
◎対象者 満三十五歳以上の方(両親、近親者などがんなどの疾病のある方は三十歳以上)
◎検診料 生活保護受給者 千三百円
受診当月70歳以上の方 千三百円
国民健康保険加入者 六百六十円
社会保険等(前記以外)二千二百円

簿記講習会へどうぞ
登別商工会議所では、次のとおり

不用品ダイヤル市
5局2111内線216
おわけします(売リ)
編機
ゆずってください(買)

お知らせ

国民年金は、加入者が自分で保険料を納める拠出制が中心となっています。

国民年金係、または最寄りの各支所でおたずねください。



胃の集団検診を次のとおり実施します。
なお、定員になり次第締め切らせていただきますので、希望者は早めに申し込みください。
◎対象者 満三十五歳以上の方(両親、近親者などがんなどの疾病のある方は三十歳以上)
◎検診料 生活保護受給者 千三百円
受診当月70歳以上の方 千三百円
国民健康保険加入者 六百六十円
社会保険等(前記以外)二千二百円

胃の集団検診を受けましょう
◎申し込み期日 十月二日から十月三十一日まで
◎申し込み先 市保健衛生課または各支所
◎検診日程 十一月八日：鷺別公民館 ●十一月九・十日：中央公民館 (三日間ともに定員各百名
当日の受付時間 午前七時三十分~九時三十分)

無料で簿記(三級程度)の講習会を開催します。多数の参加をお待ちしています。
日時：十月十六日(二十四日(七日間)午後六時~九時 場所：登別商工会館(幌別駅西口前) 参加料：無料(資料代五百円程度) 対象：どなたでも受講できます。 定員：三十名程度(定員になり次第締め切ります) 申込：登別商工会議所(電話5局4111)